

ひろば



❖よいところを見つけ、伝え合おう ～さらに「つながり」を大切に～❖

冬休み前の臨時号

登下校の時、ルールを守り、安全を「意識」していますか？

12月21日（水）に「地区児童会」を実施する予定でしたが、感染症に対する感染予防の観点から実施を見送りました。ただし、各学年・各学級において、「冬休みの過ごし方」とともに登下校に関する注意喚起を含めた指導をしています。

登校時の「問題点」は、

- 登校班のメンバーがそろわず、バラバラになっていることが常態化していること
- 班長等の高学年が速く歩くため、下の学年の子どもたちがついて行けないこと
- 低学年の子どもたちが、おしゃべりをしたり、遊びながら歩くために遅くなっていること
- 登校班の集合時刻に間に合わず、遅れることが多いこと（「遅れる」という連絡なし）

下校時の「問題点」は、

- 遊びながら歩いているため、歩道をふさいだり、車道に飛び出しそうになっていること
- そもそも通学路を歩いていないこと
- 他人の家の敷地に入るなど、近隣の住民に迷惑をかけていること
- 一旦、帰宅せずに、そのまま友だちと遊びに行ってしまうこと

その他、

- ポケットに手を入れたまま歩き、万が一転んだ場合、顔を地面に打つ可能性があること
- 信号が点滅しているにも関わらず、渡ろうと走り出すこと（⇒登校時は、見守りの地域の方や教員がいますが、子どもたち自身で判断していないことも）

登下校では、「安全」を確保するために通学路を歩くことになっています。登校班でそろって歩くことで危険を回避できることもあります。子どもたち一人ひとりが、どのような「意識」を持って登下校をしているのか、家庭でも話し合ってもらいたいです。

事件や事故に遭わないために

「自転車の乗り方」や「交通ルールを守ること」、「道路の歩き方」、「不審者に遭遇したときの対応について」等、事件や事故に遭わないよう、子どもたちに指導や声かけをしているところです。また、冬休みを前に、「冬休みの過ごし方」についても教員から話をしています。

今年度に入ってから、大きな事件や事故は起こっていませんが、「子どもが帰って来ない」という連絡は、複数回ありました。幸い、「友だちと遊んでいて帰宅が遅くなった」ということで大事に至ってありません。今後、「お子さんが帰って来ない」という事案については、学校への連絡とともに警察への連絡も視野に入れて対応してください。学校では、「早期発見・解決」をするためにも、対象児童の名前を他の保護者に伝えて、協力依頼をします。また、場合によっては、ミルメールを活用し、広く迅速に情報を入手できるようにしたいと考えております。

冬休み等、長期休業中は、学校における迅速な対応が不可能な場合もあります。つきましては、このような対応をすることに対してのご理解とご協力をよろしくお願いします。

ご家庭においても、お子さんへの「注意喚起・指導」をよろしくお願いします。